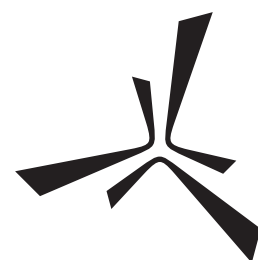


2026年度
広島市立大学
入学者選抜要項



Hiroshima City University

目 次

I	アドミッション・ポリシー	1
II	入学定員および募集人員	1
III	入学者選抜日程	2
IV	入学者選抜の概要	
1	一般選抜（前期日程・後期日程）	
(1)	出願資格	3
(2)	選抜方式	3
(3)	入学者選抜の実施教科・科目等	
①	国際学部	4
②	情報科学部	5
③	芸術学部	6
2	総合型選抜	
(1)	出願資格	7
(2)	選抜方法	
①	国際学部	8
②	情報科学部	8
③	芸術学部	10
3	学校推薦型選抜	
(1)	国際学部	12
(2)	情報科学部	12
4	外国人留学生選抜	14
V	アドミッション・ポリシーおよびアドミッション・ポリシーに基づく 各選抜区分別の評価項目等	
1	国際学部	15
2	情報科学部	16
3	芸術学部	17
VI	受験上および修学上の配慮を希望する場合	21
VII	学生募集要項の公表時期および出願について	21
VIII	試験会場案内	22

I アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

各学部においては、学部の理念，教育目標，人材育成の目標に合致したアドミッション・ポリシーをそれぞれ定めています。各学部のアドミッション・ポリシーについては15ページから20ページをご覧ください。

II 入学定員および募集人員

学 部	学 科 ・ 専 攻	入 学 定 員	募 集 人 員 (注1)						
			一 般 選 抜		総 合 型 選 抜	学 校 推 薦 型 選 抜		外 国 人 留 学 生 選 抜 (注2)	
			前 期 日 程	後 期 日 程		市 内 公 募	全 国 公 募		
国際学部	国際学科	100	60	15	5	10	10	若干名	
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	210 (注3)	120	35	5	25	25	若干名	
芸術学部	美術 学 科	日本画専攻	10	8	-	2	-	-	若干名
		油絵専攻	20	15	-	5	-	-	若干名
		彫刻専攻	10	-	7	3	-	-	若干名
		学科小計	40	23	7	10	-	-	若干名
	デザイン工芸学科	40	22	10	8	-	-	若干名	
	学部小計	80	45	17	18	-	-	若干名	
合 計		390	225	67	28	35	35	若干名	

(注1) 総合型選抜，学校推薦型選抜の選考結果によっては，合格者数が募集人員に満たない場合があります。合格者数が募集人員に満たない場合の欠員は，一般選抜前期日程の募集人員に加えます。ただし，芸術学部美術学科彫刻専攻においては，一般選抜後期日程の募集人員に加えます。

(注2) 外国人留学生選抜の募集人員「若干名」は，一般選抜の募集人員に含みます。

(注3) 情報科学部の募集は学部一括で行い，学科への配属（情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名，医用情報科学科定員30名）は本人の希望および1年次の成績により，2年次進級時に行います。

Ⅲ 入学者選抜日程

選 抜 区 分	学 部 等	出 願 期 間	試 験 日	合 格 者 発 表	入 学 手 続 期 間	
一 般 選 抜 前 期 日 程	国 際 学 部	2026年 1月26日(月)～ 2月4日(水)	2026年 2月25日(水)	2026年 3月6日(金)	2026年 3月7日(土)～ 3月15日(日)	
	情 報 科 学 部					
	芸 術 学 部		デ ザ イ ン 工 芸 学 科	2026年 2月25日(水)～ 2月27日(金)		
			美 術 学 科	日 本 画 専 攻		
	油 絵 専 攻					
一 般 選 抜 後 期 日 程	国 際 学 部	2026年 1月26日(月)～ 2月4日(水)	2026年 3月12日(木)	2026年 3月20日(金)	2026年 3月22日(日)～ 3月27日(金)	
	情 報 科 学 部					
	芸 術 学 部		美 術 学 科 彫 刻 専 攻	2026年 3月14日(土)～ 3月15日(日)		
			デ ザ イ ン 工 芸 学 科	2026年 3月14日(土)		
総 合 型 選 抜	国 際 学 部	2025年 9月2日(火)～ 9月9日(火)	2025年 10月18日(土)	2025年 11月4日(火)	2025年 11月5日(水)～ 11月12日(水)	
	情 報 科 学 部					
	芸 術 学 部	美 術 学 科	日 本 画 専 攻	2025年 11月22日(土)～ 11月23日(日)	2025年 12月3日(水)	2025年 12月4日(木)～ 12月11日(木)
			油 絵 専 攻			
彫 刻 専 攻		2025年 10月14日(火)～ 10月23日(木)				
デ ザ イ ン 工 芸 学 科	2025年 11月22日(土)					
学 校 推 薦 型 選 抜	国 際 学 部	2025年 11月5日(水)～ 11月12日(水)	2025年 11月22日(土)	2025年 12月3日(水)	2025年 12月4日(木)～ 12月11日(木)	
	情 報 科 学 部					
外 国 人 生 留 学 選 抜	国 際 学 部	2026年 1月26日(月)～ 2月4日(水)	2026年 2月25日(水)	2026年 3月6日(金)	2026年 3月7日(土)～ 3月15日(日)	
	情 報 科 学 部					
	芸 術 学 部		デ ザ イ ン 工 芸 学 科	2026年 2月25日(水)～ 2月27日(金)		
			美 術 学 科	日 本 画 専 攻	2026年 3月14日(土)～ 3月15日(日)	
油 絵 専 攻						
彫 刻 専 攻	2026年 3月20日(金)	2026年 3月22日(日)～ 3月27日(金)				

IV 入学者選抜の概要

1 一般選抜（前期日程・後期日程）

(1) 出願資格

次の①～③のいずれかに該当し、かつ令和8年度大学入学共通テストにおいて各学部・学科が指定する教科・科目を受験した者としてします。

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- これらの者は、次のとおりです。

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び2026年3月31日までに合格見込みの者

キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

（注）上記キまたはクにより本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳細は、一般選抜学生募集要項（2025年11月下旬公表予定）でご確認ください。

(2) 選抜方式

- ① 入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が行う教科・科目に係る個別テスト（以下「個別テスト」という。）等の成績を総合して行います。

大学入学共通テストおよび個別テスト等の教科・科目等並びに配点については、4ページから7ページを参照してください。

- ② 国際学部、情報科学部および芸術学部デザイン工芸学科は、「前期日程」と「後期日程」に分けて募集し、日程ごとに合格者を決定します。

芸術学部美術学科日本画専攻および油絵専攻は、「前期日程」のみで募集し、合格者を決定します。

芸術学部美術学科彫刻専攻は、「後期日程」のみで募集し、合格者を決定します。

- ③ 個別テスト等の試験会場は、広島市立大学（広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号）です。

(3) 入学者選抜の実施教科・科目等

① 国際学部

ア 実施教科・科目，配点

学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	情報	外国語	総合問題	小論文	合計	配点合計
国際学科	前期	国語	『国語』	その他	総合問題	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600	1000
		地歴公民	『地理総合，地理探究』， 『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』， 『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』													
	数学	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』， 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	その他	小論文	大学入学共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	200				400	600
	理科	『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』， 『生物』，『地学』														
後期	情報	『情報Ⅰ』	その他	小論文	個別テスト等											
外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』， 『中国語』，『韓国語』から1 〔3教科3科目〕													200	200	

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」，「情報」において，2科目以上を受験している場合は，高得点の科目を合否判定に利用します。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点】欄

- ① 配点に＊を付してある教科は，選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テストの得点は，表に示す配点を満点として換算し，利用します。
- ③ 「外国語『英語』」の得点は，大学入試センターから提供されるマークシート式の点数（リーディング100点満点，リスニング100点満点）を，リーディングは1.6倍（160点満点），リスニングは0.4倍（40点満点）した合計200点を満点とします。
ただし，リスニングを免除された者については，リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。

【大学入学共通テスト過年度成績の利用について】

大学入学共通テストの過年度成績は，入学者選抜に利用しません。

イ 個別テスト等の内容

日程	科目名等	試験内容等	試験時間
前期日程	総合問題	日本語と英語による出題	120分
後期日程	小論文	日本語による出題	90分

② 情報科学部

ア 実施教科・科目、配点

学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点					
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	数学	理科	情報	外国語	配点合計
情報工学科・ 知能工学科・ システム工学科・ 医用情報科学科	前期	数学	『数学Ⅰ, 数学A』と 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	数学	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C	大学入学 共通テスト	200	200	200	200	800
		理科	『物理』, 『化学』, 『生物』 から 1			個別テスト等	400				400
		情報	『情報Ⅰ』			計	600	200	200	200	1200
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』 から 1 〔4教科5科目〕								
	後期	数学	『数学Ⅰ, 数学A』と 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	情報	情報Ⅰ	大学入学 共通テスト	200		200	200	600
		情報	『情報Ⅰ』			個別テスト等			300		300
		外国語	『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』 から 1 〔3教科4科目〕			計	200		500	200	900

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

「理科」において、2科目を受験しているときは、高得点の科目を合否判定に利用します。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点】欄

① 大学入学共通テストの得点は、表に示す配点を満点として換算し、利用します。

② 「外国語『英語』」の得点は、大学入試センターから提供されるマークシート式の点数（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を、リーディングは1.6倍（160点満点）、リスニングは0.4倍（40点満点）した合計200点を満点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。

【大学入学共通テスト過年度成績の利用について】

大学入学共通テストの過年度成績は、入学者選抜に利用しません。

イ 個別テスト等の内容および出題範囲

日程	教科等	試験内容等	試験時間
前期日程	数 学	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲは全範囲から出題します。 数学Aは「図形の性質」, 「場合の数と確率」, 数学Bは「数列」, 数学Cは「ベクトル」, 「平面上の曲線と複素数平面」の範囲から出題します。	120分
後期日程	情 報	情報Ⅰの全範囲（「情報社会の問題解決」, 「コミュニケーションと情報デザイン」, 「コンピュータとプログラミング」, 「情報通信ネットワークとデータの活用」）から出題します。 ただし、「コミュニケーションと情報デザイン」については「情報のデジタル化」の範囲から出題します。	90分

③ 芸術学部

ア 実施教科・科目、配点

学科等	日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	情報	外国語	実技検査		合計	配点 合計	
													①	②			
美術学科	前期	国語	『国語』	から1	その他 実技検査 ①鉛筆素描 ②着彩写生	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600	1800	
		地歴 公民	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』			個別テスト等							450	750	1200		
	油絵専攻	前期	数学		『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	その他 実技検査 ①素描 ②油彩	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600	1800
							個別テスト等								600	600	
	彫刻専攻	後期	理科		『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、 『生物』、『地学』	その他 実技検査 ①素描 ②塑造	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600	1800
							個別テスト等							600	600	1200	
デザイン工芸学科	前期	情報	『情報Ⅰ』	その他 実技検査 感覚考査 (描出)	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600	1800		
					個別テスト等							1200		1200			
後期	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』から1 〔3教科3科目〕	その他 実技検査 感覚考査 (色彩または 形体)	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200			600	1800		
				個別テスト等							1200		1200				

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「情報」において、2科目以上を受験している場合は、高得点の科目を合否判定に利用します。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点】欄

① 配点に*を付してある教科は、選択教科を表します。

② 大学入学共通テストの得点は、表に示す配点を満点として換算し、利用します。

③ 「外国語『英語』」の得点は、大学入試センターから提供されるマークシート式の点数（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を、リーディングは1.6倍（160点満点）、リスニングは0.4倍（40点満点）した合計200点を満点とします。

ただし、リスニングを免除された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。

【大学入学共通テスト過年度成績の利用について】

大学入学共通テストの過年度成績は、入学者選抜に利用しません。

イ 個別テスト等の内容

学科等	日程	科目名等	試験内容等	試験時間
美術学科 日本画専攻	前期日程	実技検査	①鉛筆素描	7時間（1日目）
			②着彩写生	12時間（2日目・3日目）
美術学科 油絵専攻	前期日程	実技検査	①素描 「木炭のみによるデッサン」または「木炭と鉛筆の併用によるデッサン」とします。出願時に選択する必要はありません。いずれの場合も用紙は木炭紙です。	7時間（1日目）
			②油彩	12時間（2日目・3日目）

学科等	日程	科目名等	試験内容等	試験時間
美術学科 彫刻専攻	後期日程	実技検査	①素描 「木炭によるデッサン（用紙は木炭紙）」または「鉛筆によるデッサン（用紙は画用紙）」のいずれかを、志願者が出願時に選択します。出願後の変更はできません。	7時間（1日目）
			②塑造	7時間（2日目）
デザイン 工芸学科	前期日程	実技検査	感覚考査(描出)	7時間（1日）
	後期日程		感覚考査（色彩または形体） 色彩または形体のいずれかを、志願者が出願時に選択します。出願後の変更はできません。	7時間（1日）

2 総合型選抜

(1) 出願資格

次の①と②の両方に該当する者

① 次のいずれかに該当する者

ア 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は、次のとおりです。

(ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者

(ウ) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者

(エ) 文部科学大臣の指定した者

(オ) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

(カ) 学校教育法第90条（昭和22年法律第26号）第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び2026年3月31日までに合格見込みの者

(キ) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(ク) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 上記（キ）または（ク）により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳細は総合型選抜学生募集要項（2025年7月下旬公表予定）でご確認ください。

② 広島市立大学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

(2) 選抜方法

① 国際学部

ア 1次選考

配点は活動報告書 50 点、学修計画書 50 点です。

アドミッション・ポリシーの重点評価項目に基づいて選考し、募集人員の 2 倍程度を目安に 2 次選考対象者を決定します。

1 次選考の結果については、2025 年 10 月 2 日（木）に志願者全員に通知します。

提出書類	内 容
活動報告書	国際学部で学びたいことと関連するこれまでの活動や取組で自己評価できるものを述べてください。
学修計画書	国際学部のカリキュラムの中で中心的に学んでみたいプログラムや科目とその理由、国際学部で取り組んでみたい活動（研究・調査、海外留学、地域貢献活動、課外活動など）の計画とその理由を述べてください。

イ 2次選考

小論文および面接の結果を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストは利用しません。また、1 次選考の点数は、2 次選考に加点しません。

選抜方法	内 容	配点
小論文	社会問題や社会情勢等について日本語で書かれた評論等を題材とした問題を出題します。 アドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」および「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。試験時間は 60 分です。	100 点
面接	複数名の面接者が、プレゼンテーションを含む 20 分程度の個人面接を行います。 プレゼンテーションでは、出願書類（活動報告書・学修計画書）の内容を基に 7 分以内で発表してください。 アドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」、「思考力・判断力・表現力」および「主体性・協働性」について重点的に評価します。 面接では、調査書や参考資料などの書類も参考に、総合的な事柄についても質問します。	100 点

② 情報科学部

ア 1次選考

配点は活動報告書 50 点、志願理由書 50 点です。

情報工学・情報科学に関する学修や活動*についてアドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」および「主体性・協働性」を重点的に評価し、選考します。

2 次選考対象者は募集人員の 2 倍程度の範囲内で決定します。

1 次選考の結果については、2025 年 10 月 2 日（木）に志願者全員に通知します。

※ 情報工学・情報科学に関する学修や活動（正課・正課外いずれも可）

<例>

- ・本学で実施する「高校生による情報科学自由研究」への参加、取組
- ・本学または他大学が実施する講座や高大接続事業への参加、取組
- ・高等学校での「総合的な探究の時間」における取組
- ・数学に関する探究、アルゴリズム・プログラムの作成など

提出書類	内 容
活動報告書	情報工学・情報科学に関する学修や活動のうち、力を注いだこと、誇りに思えることをエピソードを交えて書いてください。具体的には、その活動のきっかけ、進め方や仲間との協力の様子、苦労したこととそれをどのように乗り越えたか、活動を通じて何を学んだか、などを示してください。
志願理由書	将来（大学卒業後）の目標と、そのために情報科学部で学びたいこと・身に付けたいことを、これまでの活動（正課、正課外いずれも可）と関連付けて述べてください。
その他の書類	出願書類（活動報告書、志願理由書）の中で述べられている、情報工学・情報科学に関して主体的に活動したことについて、その裏付けとなる資格や受賞歴、プログラムなどがあれば、それを確認できる書類の写しを提出してください。

イ 2次選考

面接および口頭試問の結果を総合して合格者を決定します。面接と口頭試問の時間は合わせて 30 分程度です（面接時のプレゼンテーション時間も含む。）。

大学入学共通テストは利用しません。また、1次選考の点数は、2次選考に加点しません。

選抜方法	内 容	配点
面 接	<p>プレゼンテーションと質疑応答を含む個人面接です。プレゼンテーションの内容と出願書類（活動報告書、志願理由書、その他の書類）を参考にし、複数名の面接者が質問します。</p> <p>プレゼンテーションでは、これまでの学びや頑張りについて、大学でそれをどのように向上・発展させたいか、そして将来それをどのように役立てたいかなどをプレゼンテーション・ツール（Microsoft® PowerPoint® や PDF など）を使って7分程度で説明してください。</p> <p>プレゼンテーションの内容と質問に対する回答について、アドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」および「主体性・協働性」を重点的に評価します。</p>	100点
口頭試問	<p>面接時のプレゼンテーションで述べられた、情報工学・情報科学に関連する用語や話題に基づく口頭試問を行います。口頭試問は、面接の流れの中で複数回に分けて行います。口頭試問で得られた解答について、アドミッション・ポリシーに基づいて「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。</p>	100点

●イノベーション人材育成プログラムについて

情報科学部では、社会の変化とニーズに対応できる実践的な ICT 人材を育成する「イノベーション人材育成プログラム」を開設しています。本プログラムは、ICT 活用に不可欠なプログラミングと情報科学の基礎である数学において秀でた能力を、学修意欲と合わせてさらに伸ばす選抜型のプログラムです。総合型選抜を通じて入学した学生は優先して本プログラムに参加できます。

イノベーション人材育成プログラムを所定の成績で修了した学生は、学部4年次を履修することなく大学院に進学し、先端的な研究を早期に開始することができます。本プログラムは2021年度から始まり、2023年度に初めて修了生を輩出しました。毎年、本プログラム修了生から大学院への早期進学者を輩出しており、修士研究を通じて活躍しています。

③ 芸術学部

- ・すべての試験科目は、芸術学部のアドミッション・ポリシーに基づいて評価します。
- ・「提出書類」の得点と「本選考」の得点を合計して合格者を決定します。「提出書類」および「本選考」の試験科目は学科・専攻により異なります。なお、大学入学共通テストは利用しません。
- ・自己推薦書、作品ファイル、課題作品等はすべて本人の活動および制作物でなければなりません。これに反することが判明した場合は、入学者選抜の対象から除きます。合格者決定後であっても同様です。

ア 事前選考

- ・次の場合、提出書類による事前選考を実施することがあります。
 - 美術学科日本画専攻：志願者数が募集人員の4倍を超えた場合
 - 美術学科油絵専攻：志願者数が募集人員の3倍を超えた場合
 - 美術学科彫刻専攻：志願者数が募集人員の4倍を超えた場合
 - デザイン工芸学科：志願者数が募集人員の3倍を超えた場合
- ・事前選考を行った場合は、その合格者に対してのみ本選考を実施します。
- ・事前選考実施の有無および実施した場合の選考結果を2025年11月6日（木）に志願者全員へ通知します。

イ 配点・選抜方法

(ア) 美術学科

専攻	配点								合計
	提出書類				本選考				
	自己推薦書	調査書	作品ファイル	課題作品の写真	小論文	実技試験	面接資料	面接	
日本画専攻	100		150		100	500	150		1000
油絵専攻	100		150	150	100	300	200		1000
彫刻専攻	100		200	200	100	150		250	1000

提出書類	自己推薦書	志願する学科・専攻を選択した理由、美術に対する思い等に言及し、自己の可能性についてアピールしてください。(1200字以内)
	調査書	高等学校の「調査書」を提出してください。なお、高等学校で発行されない場合、学歴、職歴、活動歴などを所定の様式に記入して提出してください。
	作品ファイル	これまでに制作した作品や取り組んだ芸術活動の写真および必要と思われる解説のテキスト等をA4ファイル1冊(ページ数やレイアウトは自由)にまとめて、紙媒体で提出してください。作品には、タイトル・大きさ・制作年・素材等を、芸術活動には活動名・活動期間を明記してください。
	課題作品の写真	<p>油絵専攻</p> <p>課題のテーマに基づいて自由に発想した平面作品を制作し、その記録写真1枚(A4片面カラープリント)を提出してください。課題作品はF15号相当サイズとし、素材・表現手法についてはいずれも任意です。本学所定の様式に、作品タイトル、サイズ、素材、表現手法を記入し、作品ファイルの最後のページに本学所定の様式、記録写真の順に挿入してください。</p> <p>課題のテーマは、7月下旬公表予定の芸術学部総合型選抜学生募集要項にて発表します。</p>

提出書類	課題作品の写真	彫刻専攻	<p>課題のテーマに基づいて自由に発想した立体作品を制作し、その記録写真3枚(A4片面カラープリント、正面・側面・背面など3方向から撮影したもの)を提出してください。本学所定の様式に、作品タイトル、サイズ、素材、制作の意図を記入し、作品ファイルの最後のページに本学所定の様式、記録写真の順に挿入してください。</p> <p>課題のテーマは、7月下旬公表予定の芸術学部総合型選抜学生募集要項にて発表します。</p>
	小論文	<p>配付された画像資料を見て、そこから得られる自分の考えを自分の言葉で表現し、読み手に正しく伝わるように論じてください(60分で800字程度)。</p>	
本選考	実技試験	日本画専攻	人物モデルを対象とした8時間の着彩写生を行います。
		油絵専攻	人物モデルを対象とした6時間の鉛筆デッサンを行います。
		彫刻専攻	与えられたモチーフを卓上に配置し、2時間の鉛筆デッサンを行います。
	面接資料	日本画専攻	鉛筆デッサン、静物着彩写生を含む平面作品3点を持参してください。
		油絵専攻	写真で提出した課題作品の実物を持参してください。
面接	<p>3分程度のプレゼンテーションを含む一人20分程度の質疑応答を行います。</p> <p>プレゼンテーションでは、創作・表現への意欲、将来への展望、それらを通じた社会との関わり方等について自身の考えを述べてください。</p>		

(イ) デザイン工芸学科

配 点						
提出書類			本選考			合計
自己推薦書	調査書	作品ファイル	小論文	課題作品	面接	
100		200	200	300	200	1000

提出書類	自己推薦書	<p>志願する学科を選択した理由、デザイン工芸に対する思い等に言及し、自己の可能性についてアピールしてください。(1200字以内)</p>
	調査書	<p>高等学校の「調査書」を提出してください。なお、高等学校で発行されない場合、学歴、職歴、活動歴などを所定の様式に記入して提出してください。</p>
	作品ファイル	<p>これまでに制作した作品や取り組んだ芸術活動の写真および必要と思われる解説のテキスト等をA4ファイル1冊(ページ数やレイアウトは自由)にまとめて、紙媒体で提出してください。作品には、タイトル・大きさ・制作年・素材等を、芸術活動には活動名・活動期間を明記してください。</p>
本選考	小論文	<p>配付された画像資料を見て、そこから得られる自分の考えを自分の言葉で表現し、読み手に正しく伝わるように論じてください(60分で800字程度)。</p>
	課題作品	<p>10日間程度の制作期間を想定した課題を課します。与えられたテーマに基づいて、素材、表現方法にこだわらず、自由に発想し、作品を制作してください。作品の写真をA4サイズに出力したものを提出してください。</p> <p>課題の詳細およびテーマは、本選考の10日程度前に本学ウェブサイトにて発表します。</p>
	面接	<p>10分程度のプレゼンテーションを行い、その後10分程度の質疑応答を行います。</p> <p>プレゼンテーションでは、課題作品の解説および創作・表現への意欲、将来への展望、それらを通じた社会との関わり方等について自身の考えを述べてください。</p>

3 学校推薦型選抜

(1) 国際学部

●出願資格及び推薦の要件

市内公募は次の①～③のすべてに該当する者、全国公募は②と③に該当する者としてします。

- ① 2025年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者
- ② 2026年3月に高等学校等を卒業見込みの者のうち、学業成績、人物共に優れ、志望する学部・学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者
- ③ 調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

(注1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを利用するものおよびこれを利用しないものを含む)へ出願できるのは、一つの大学・学部です。

(注2) 高等学校以外の学校については、事前協議が必要です。詳細は本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

●推薦人数

1高等学校等につき、市内公募1名まで、全国公募1名までとします。

ただし、複数の課程(全日制、定時制、通信制)を持つ高等学校等については、課程ごとに所定の人数を推薦できるものとします。

(注) 2025年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者であっても、全国公募枠で出願できません。ただし、市内公募枠との併願はできません。

●選抜方法等

小論文および面接の結果を総合して合格者を決定します。

大学入学共通テストは利用しません。

出願書類(調査書、推薦書、志願理由書)は面接の参考とします。

選抜方法	内 容	配点
小論文	社会問題や世界情勢等についての英文の論評等を題材とした問題を出題します。 アドミッション・ポリシーに基づいて「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。試験時間は90分です。	100点
面接	複数名の面接者が出願書類(調査書、推薦書、志願理由書)や参考資料を基に、10分程度の個人面接を行います。 アドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」、「表現力」および「主体性・協働性」について重点的に評価します。	100点

(2) 情報科学部

●出願資格及び推薦の要件

市内公募は次の①～③のすべてに該当する者、全国公募は②と③に該当する者としてします。

- ① 2025年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者
- ② 2026年3月に高等学校等を卒業見込みの者のうち、学業成績、人物共に優れ、志望する学部・学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者
- ③ 情報工学・情報科学に興味を持ち、その基礎となる教科の情報、数学、理科に優れている者

(注1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを利用するものおよびこれを利用しないものを含む)へ出願できるのは、一つの大学・学部です。

(注2) 高等学校以外の学校については、事前協議が必要です。詳細は本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

●推薦人数

1 高等学校等につき，市内公募2名まで，全国公募2名までとします。

ただし，複数の課程（全日制，定時制，通信制）を持つ高等学校等については，課程ごとに所定の人数を推薦できるものとします。

（注） 2025年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者であっても，全国公募枠で出願できます。ただし，市内公募枠との併願はできません。

●選抜方法等

総合問題，面接および出願書類（活動報告書，志願理由書）の結果を総合して合格者を決定します。大学入学共通テストは利用しません。

提出書類	内 容
活動報告書	高等学校で力を注いだ活動や誇りに思える活動を，エピソードを交えて書いてください（情報工学・情報科学に関連することが望ましい）。 具体的には，その活動のきっかけ，進め方や仲間との協力の様子，苦労したこととそれをどのように乗り越えたか，活動を通じて何を学んだかなどを示してください。
志願理由書	情報科学部で学びたいこと・身に付けたいことを，高等学校での活動（正課，正課外いずれも可）および将来（大学卒業後）の目標と関連付けながら（どのような経験や学びを活かしたいか）述べてください。
その他の書類	出願書類（活動報告書，志願理由書）の中で述べられている，主体的に活動したことや仲間と協力して活動したことについて，その裏付けとなる資格や受賞歴があれば，それを確認できる書類の写しを提出してください。

選抜方法	内 容	配点
総合問題	科学技術に関する日本語と英語の資料について読解・論述する問題，情報科学の基礎となる数学に関する知識や論理的思考力を確認する問題を出題します。試験時間は120分です。	200点
面接および出願書類	出願書類（調査書，活動報告書，志願理由書およびその他の書類）を参考にし，複数名の面接者による20分程度の個人面接を行います。 高等学校で学んだこと・頑張ったことや，その成果を情報科学部に入ってからどのように向上・発展させたいか，その結果何を身に付け，社会に出てからどのように役立てたいかなどを中心に質問します。 質問に対する回答をアドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」，「表現力」および「主体性・協働性」について重点的に評価します。面接で十分に聞き取れなかったことについては，活動報告書，志願理由書を基に加点評価します。加点の上限は40点です。ただし，合計の得点が満点（200点）を超えることはありません。	200点

4 外国人留学生選抜

●出願資格

日本の国籍を有しない者で、次の①～④のいずれかに該当する者かつ各学部の要件を満たすものとします。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
 - (2) 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA レベル資格、国際A レベル資格、欧州バカロレア資格を有する者
 - (3) 国際的な評価団体 (WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS) の認定を受けた外国における教育施設の12年の課程を修了した者又は2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
- (注) 上記(4)により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。詳細は本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

[各学部の要件]

【国際学部】

2025年度日本留学試験(6月または11月のいずれか)の本学が指定する科目を受験すること

【情報科学部】

2025年度日本留学試験(6月または11月のいずれか)の本学が指定する科目を受験し、その得点が、日本語(読解, 聴解・聴読解)は197点以上, その他の科目の合計点は215点以上であること

【芸術学部】

2025年度日本留学試験(6月または11月のいずれか)の本学が指定する科目および2025年度中に実施されるTOEIC® L&Rテスト(TOEIC® L&R IPテストを含む。)を受験すること

本学が指定する日本留学試験の受験科目 (※ 出題言語は日本語を選択すること。)

学部名	日本留学試験受験科目			
	日本語	総合科目	数学	理科
国際学部	読解, 聴解・聴読解	総合科目	—	—
情報科学部	読解, 聴解・聴読解	—	数学コース2	物理, 化学
芸術学部	読解, 聴解・聴読解	総合科目	—	—

●選抜方法等

【国際学部】

小論文(100点満点)および面接(100点満点)の結果を総合して合格者を決定します。

日本留学試験の成績は、面接の参考資料として利用します。

【情報科学部】

日本留学試験の成績(400点満点), 個別テスト(一般選抜前期日程の数学と同一試験, 400点満点)および面接(300点満点)の結果を総合して合格者を決定します。

日本留学試験の成績は、日本語(読解, 聴解・聴読解), 数学と理科(物理, 化学)の得点の合計点を400点満点として換算し利用します。

【芸術学部】

日本留学試験の成績(400点満点), 実技検査(美術学科日本画専攻・油絵専攻, デザイン工芸学科は一般選抜前期日程と同一試験, 美術学科彫刻専攻は一般選抜後期日程と同一試験, 1200点満点)および面接(200点満点)の結果を総合して合格者を決定します。

日本留学試験の成績は、日本語(読解, 聴解・聴読解)と総合科目の得点の合計点を400点満点として換算し利用します。

TOEIC® L&Rテスト(TOEIC® L&R IPテストを含む。)の成績は、参考資料として利用します。

V アドミッション・ポリシーおよびアドミッション・ポリシーに基づく各選抜区分別の評価項目等

1 国際学部

国際学部アドミッション・ポリシー

複雑化する国際社会及び地域社会においては、単一の学問分野のみならず、領域を超えた幅広いアプローチから課題の解決に取り組むことが必要です。

国際学部では、豊かな学識と幅広い視野に基づいて、平和で持続可能な国際社会や地域社会の実現に貢献できる人材の育成を教育理念としています。そのため、国際学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

(関心・意欲)

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人

(知識・技能)

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人

(思考力・判断力・表現力)

- ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人
- ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人

(主体性・協働性)

- ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人
- ・国際社会や地域社会における人間の営みに関する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働する姿勢を持つ人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各選抜区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

選抜区分	一般選抜(75名)				総合型選抜 【10月】 (5名)	学校推薦型選抜 【11月】 (市内10名, 全国10名)	外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)							
	前期 【2月】 (60名)		後期 【3月】 (15名)											
	特に求める人物像													
アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	現代社会とその課題について基本的な知識と高い関心を持ち、社会の課題に対する考えを論理的に表現できる人		現代社会の課題に深い関心を持ち、その解決へ向けた考えを論理的に表現できる人		国際学部の専門分野を学ぶ意欲を持ち、現代社会の課題に対する問題意識を自分の言葉で説得的に表現できる人		高等学校段階において優れた能力を示し、豊かな経験を有するとともに、これらを国際学部で学ぶのに活かす意欲を明確に表現できる人	本学で学ぶのに必要な日本語能力があり、国際学部の専門分野に積極的に取り組む意欲のある外国人留学生						
	全体 1000		全体 600		1次選考では活動報告書及び学修計画書の内容を審査し、募集人員の2倍程度を目安に2次選考対象者を決定する。		全体 200	全体 200						
	100		200		1次選考		2次選考							
	大学入学 共通テスト	総合 問題	大学入学 共通テスト	小論文	活動 報告書	学修 計画書	小論文	面接 (プレゼンテーションを含む)	小論文	面接	日本留学試験	小論文	面接	
	600	400	400	200	50	50	100	100	100	100			100	100
関心 意欲	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎
知識 技能	○	○	○	○						○	○	○	○	
	◎	◎	◎	◎						○	○	○	○	
思考力 判断力 表現力	◎	◎	◎	◎	○			◎	○	○	◎	○	○	
	◎	○	◎	○										
主体性 協働性					◎	○	○		◎	◎	○	○	◎	◎
					◎	○	○		◎	◎	○	○	◎	◎

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

2 情報科学部

情報科学部アドミッション・ポリシー

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い、我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。情報科学部では、このような複雑化する社会に対応するため、情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け、高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。そのため、情報科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

(関心・意欲)

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人

(知識・技能)

情報工学・情報科学を学ぶ上で土台となる高等学校等で修得すべき情報、数学、理科及び語学の知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- ・物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人

(主体性・協働性)

- ・情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人
- ・多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各選抜区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	細目	選抜 区分	一般選抜(155名)				総合型選抜 【10月】 (5名)				学校推薦型選抜 【11月】 (市内25名, 全国25名)		外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)		
			前期 【2月】 (120名)		後期 【3月】 (35名)		情報科学に深い関心があり、積極的に 学ぶ意欲を持ち、新しい情報科学 技術を創造したい人。数学またはブ ログラミングの知識・技能に自信の ある人				情報科学に関心・学修 する意欲を持ち、学ん だことを活用して社会 の課題解決に貢献す る熱意がある人。その ために、他人と協調し て主体的に活動できる 人		情報科学を学ぶのに必要な 日本語能力と数学・理科・語 学の基礎的な知識・技能を 持つ人。情報科学を学修す る意欲のある外国人留学生		
			特に 求める 人物像		幅広い分野の基礎 知識を備え、数学の 総合的な知識・技能 を持つ人。論理的に 思考し、説明できる 人										
			全体 1200		全体 900		1次選考では活動報告書及び志願 理由書の内容を審査し、募集人員 の2倍程度の範囲内で2次選考対 象者を決定する。				全体 400		全体 1100		
							100		200						
							1次選考		2次選考						
			大学入学 共通テスト		大学入学 共通テスト		活動 報告書		面接 (プレゼ ンテー ション を含む)		総合 問題		日本 留学 試験		
			数学		情報		志願 理由書		口頭 試問		面接・ 出願書類 (志願理 由書、活 動報告書)		数学		
			800	400	600	300	50	50	100	100	200	200	400	400	300
関心 意欲	情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つ人						◎	○	◎		◎	◎	◎		◎
	学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人										◎	◎			
知識 技能	情報工学・情報科学を学ぶ上で土台となる高等学校等で修得すべき情報、数学、理科及び語学の知識・技能を有している人	幅広い基礎知識を有している人	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
	有している知識・技能の応用・発展ができる人		○	○	◎		◎		◎	◎					
思考力 判断力 表現力	物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人		◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎
	自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人		○		○	○		◎	○	◎	○	◎	◎	○	◎
主体性 協働性	情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人						○	○	○		◎	◎	○		○
	多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人						○	○	○		◎	◎	◎		◎

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

3 芸術学部

芸術学部アドミッション・ポリシー

国際化や情報化の急激な進展などにより社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、社会に豊かさをもたらす芸術の社会的役割はますますその重要性を高めています。

芸術学部では、創造性に富んだ創作を行うための専門的な知識と確かな技術を備え、文化芸術の創造及び発展に貢献できる先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念としています。

そのため、芸術学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

（関心・意欲）

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人

（知識・技能）

高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人

（思考力・判断力・表現力）

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人

（主体性・協働性）

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各選抜区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

【美術学科日本画専攻】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	細目	選抜区分	一般選抜（前期） 【2月】 (8名) 試験日程:3日(19時間)			総合型選抜 【11月】 (2名) 試験日程:2日					外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)			
		特に 求める 人物 像	絵画創作において基礎となる描写力・思考力・構成力と色彩感覚をバランスよく備え、客観的な観察力よって的確な表現のできる人			絵画表現における基礎的描写力と豊かな感性を有し、作品制作に強い意志と積極性を持って臨むことのできる人					日本画分野で学ぶために必要な日本語能力があり、絵画表現の基礎力を備えた創作意欲のある外国人留学生			
		全体 1800			全体 1000					全体 1800				
			大学 入学 共通 テスト	鉛筆 素描 (7h)	着彩 写生 (12h)	提出書類		本選考			日本 留学 試験	実技 検査	面接	
			600	450	750	自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	小論文	着彩 写生 (8h)	面接 (プレゼン テーション を含む、平 面 作品3点 (持参))	400	1200	200
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○			◎	○			○
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○			○		○		○	○	○		
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	◎	○	◎	◎	○	○		○	○	○	◎		◎
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○			○	○		○

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【美術学科油絵専攻】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】		細目	選抜 区分	一般選抜（前期） 【2月】 (15名) 試験日程:3日(19時間)			総合型選抜 【11月】 (5名) 試験日程:2日						外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)		
			特に 求める 人物像	油絵分野における基本的な観察力・描写力・構成力・発想力・思考力とともに、創造力を備えた人			油絵分野に対して高い関心と意欲を持ち、目的意識が高く、創造力を備え普段から創作に関わる人						油絵分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、絵画表現の基礎力を備えた創作意欲のある外国人留学生		
			全体 1800	全体 1000			全体 1800								
			大学 入学 共通 テスト	素描 (7h)	油彩 (12h)	募集人員の3倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す									
						提出書類			本選考						
						自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	課題 作品 (写真)	小論文	鉛筆 デッサン (6h)	面接 (プレゼン テーション を含む、課 題作品 (持参))	日本 留学 試験	実技 検査	面接
			600	600	600	100	150	150	100	300	200	400	1200	200	
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○	◎	○		◎	○		○	
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	基本的な知識、教養を有している人	○	○		○	○				○	○			
		専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎	◎	◎	○	○	○		◎	◎	◎	◎		
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人		◎	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○			○	○		○	

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【美術学科彫刻専攻】

アドミッションポリシー内 【求める人物像】		細目	選抜区分	一般選抜(後期) 【3月】 (7名) 試験日程:2日(14時間)			総合型選抜 【11月】 (3名) 試験日程:1日						外国人留学生選抜 【3月】 (若干名)		
			特に求める人物像	彫刻分野に対する高い関心と意欲の現れとして、基礎的な素描力(見る力・描く力)と造形力を身につけている人			彫刻に関心があり、普段から創作に関わる人 さらに自らの思考や意思を作品や言葉によって積極的に伝えようとする人 素描力(見る力・描く力)と造形的な感性を備えている人						彫刻分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、基礎的な造形力を備えた創作意欲のある外国人留学生		
			全体 1800	全体 1000			全体 1800								
			大学入学共通テスト	素描(7h)	塑造(7h)	募集人員の4倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す						日本留学試験	実技検査	面接	
			600	600	600	提出書類		本選考				400	1200	200	
						自己推薦書	調査書	作品ファイル	課題作品(写真)	小論文	鉛筆デッサン(2h)	面接(プレゼンテーションを含む)			
関心意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人														
知識技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○			○							○	○	
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎		◎	◎	○		○	○		○		◎		◎
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	○	○	○	○	◎	○		○	◎		◎	○		○
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○				○	○		○

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【デザイン工芸学科】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	細目	選抜区分	一般選抜（前期） 【2月】 (22名) 試験日程:1日 (7時間)	一般選抜（後期） 【3月】 (10名) 試験日程:1日 (7時間)	総合型選抜 【11月】 (8名) 試験日程:1日	外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)							
		特に求める人物像	デザイン工芸分野で学ぶ上で必要となる基礎的な観察力・描写力、及び優れた構成力・発想力・思考力を有する人	デザイン工芸分野で学ぶ上で必要となる色彩感覚、もしくは形体感覚のいずれかに特化した発想力・表現力を有する人	デザイン工芸分野に対して高い関心と意欲を持ち、目的意識が高く、創造力を備えた人	デザイン工芸分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、基礎的な造形力を備えた創作意欲のある外国人留学生							
		全体	1800	1800	1000	1800							
		試験科目	大学入学共通テスト 感覚 検査 (描出)	大学入学共通テスト 感覚 検査 (色彩 または 形体)	提出書類 本選考	日本留学試験 実技検査 面接							
	600	1200	600	1200	自己推薦書 調査書 作品 ファイル 小論文 課題 作品 面接 (プレゼンテーションを含む)	400	1200	200					
					募集人員の3倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す								
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人												
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人												

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

VI 受験上および修学上の配慮を希望する場合

障がいのある等の理由で、受験上および修学上の配慮を希望する場合は、出願前に、本学アドミッションセンターにお申し出ください。

詳細については、各選抜区分の学生募集要項を確認してください。

VII 学生募集要項の公表時期および出願について

下記の学生募集要項は、本学ウェブサイトにて電子ファイル（PDF 形式）で公表します。

本学ウェブサイトの【トップページ>入試情報>学部>入学者選抜情報>学生募集要項等】から閲覧・ダウンロードしてください（冊子等での配布は行いません）。一般選抜学生募集要項のみ本学ウェブサイトから資料請求することができます。

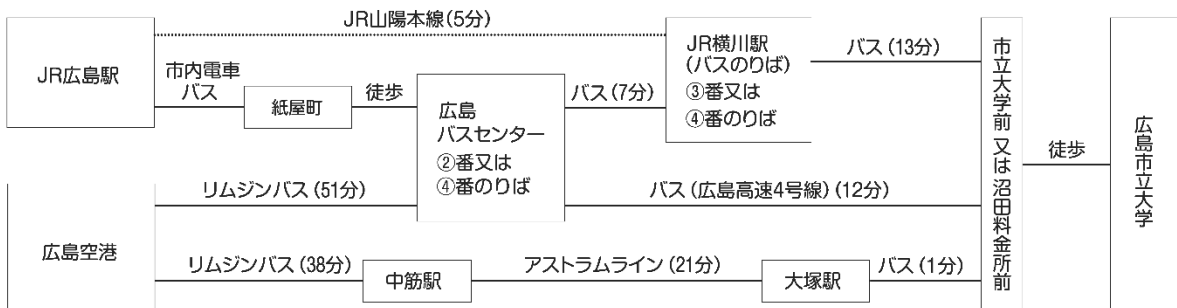
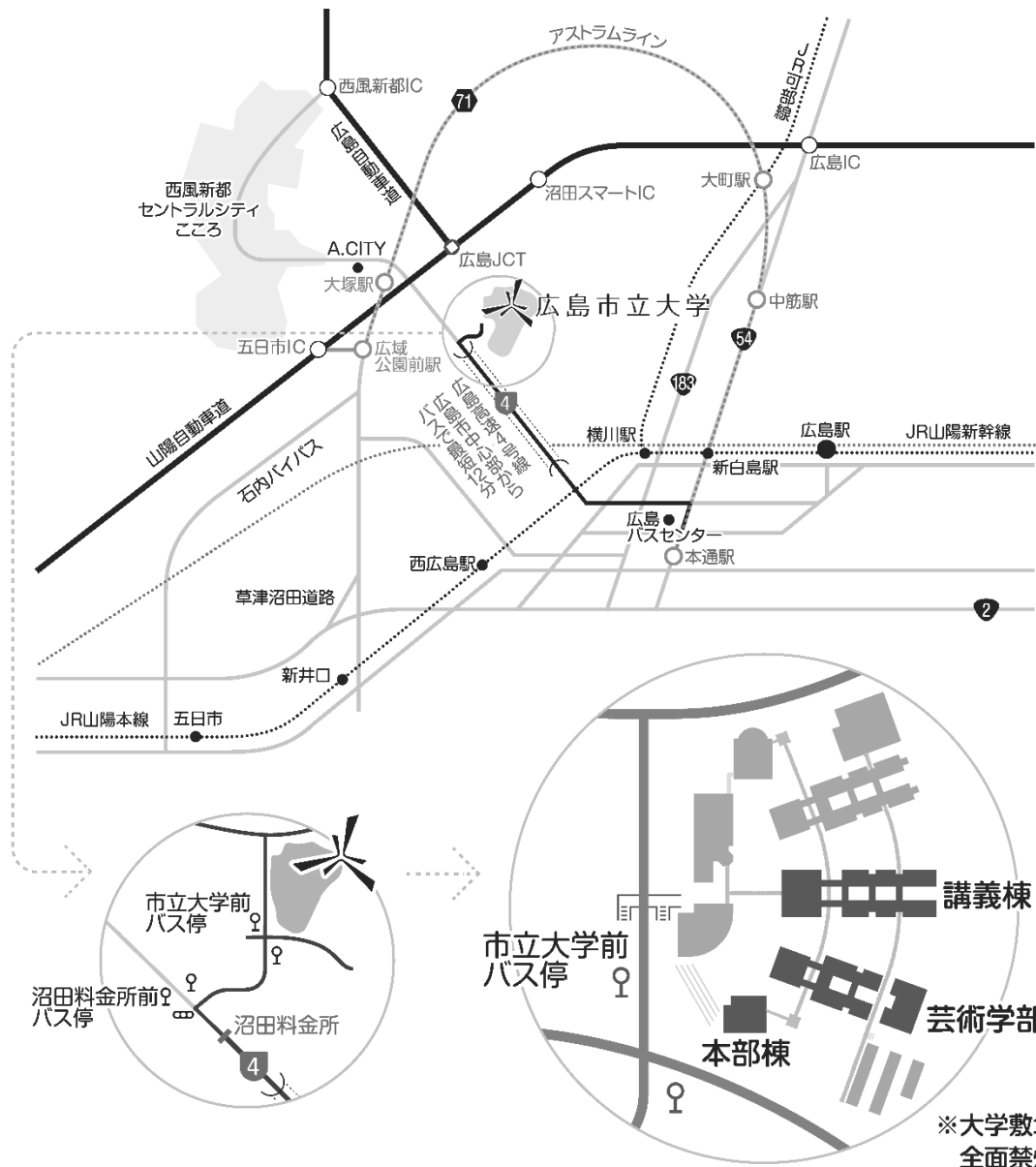
学生募集要項の種別	公表時期
一般選抜	2025年11月下旬
総合型選抜	2025年7月下旬
学校推薦型選抜	2025年9月中旬
外国人留学生選抜	2025年11月下旬

出願前に、各選抜区分の詳細を**学生募集要項**で必ず確認したうえで、本学ウェブサイトの【トップページ>入試情報>Web 出願サイト】から各選抜の出願を行ってください。

【本学ウェブサイト】 <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/>



VIII 試験会場案内



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。

広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南中央」方面行きのバスには、

「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。



3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学
Hiroshima City University

【入試に関する問い合わせ先】

広島市立大学アドミッションセンター

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

Phone 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

発行：2025年7月